

福島第一原子力発電所における屋外空調ダクトの点検作業状況について

<概要>

(点検結果・外部への影響)

- ・平成 20 年 6 月 16 日から 7 月 9 日までの予定で屋外に設置されている空調ダクトの点検を実施しておりますが、6 月 30 日までの時点で、3 号機タービン建屋換気系排気筒と排気ダクトのつなぎ目から気体が漏えいしていることを確認しました。
- ・調査の結果、外部への放射性物質の放出はなかったものと考えております。

(今後の対応)

- ・今後、漏えい箇所を補修します。
- ・引き続き残りの空調ダクトの点検を実施してまいります。

(公表区分)

- ・本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下の通りです。

1. 点検結果・外部への影響

平成 20 年 3 月 11 日に 4 号機廃棄物地下貯蔵設備建屋の排気ダクトに穴が確認された事象、ならびに、5 月 12 日に 3 号機活性炭ホールドアップ建屋の排気ダクトつなぎ目から空気の漏えいが確認された事象を踏まえ、6 月 16 日から 7 月 9 日までの予定*で、発電所の屋外に設置されている空調ダクトの点検を実施し、放射性物質が検出された場合にはすみやかに公表することとしておりました。

([平成 20 年 6 月 13 日](#) お知らせ済み)

6 月 16 日から 6 月 30 日にかけて、各建屋の空調系ダクトの外観やつなぎ目部など、合計 348 箇所の点検を実施した結果、6 月 30 日に 3 号機タービン建屋換気系排気筒と排気ダクトのつなぎ目の一部分から気体が漏えいしていることを確認しました。

その後の調査の結果、3 号機タービン建屋換気系排気筒モニタの値は通常の変動の範囲内であること、および当該つなぎ目周辺に放射性物質による汚染はなかったことから、このつなぎ目から外部への放射性物質の放出はなかったものと考えております。

また、空間線量率を測定するために発電所敷地境界近傍に設置されているモニタリングポストの値は通常の変動の範囲内であり、周辺環境への影響についてもなかったものと考えております。

なお、上記以外に、建屋内部に空気が流入している場所が複数確認されておりますが、建屋内は大気圧より低い圧力（負圧）に保たれており、建屋内の空気が外へ出ることはありません。

- ・ 1号機サービス建屋の換気ダクトの保温カバーの隙間部
- ・ 2号機原子炉建屋の排気ダクト貫通部の据付ボルト部
- ・ 2号機廃棄物処理建屋の排気ダクト貫通部と壁の境界部
- ・ 3号機廃棄物処理建屋の給気・排気ダクトの保温カバーの隙間部
- ・ 排風機建屋（2～4号機のタービン建屋用排気ファンを設置している建屋）のダクト貫通部の金属製の板と壁の境界部

2. 今後の対応

当該つなぎ目については速やかに補修を行うとともに、引き続き、残りの空調ダクトの点検を実施することとします。

点検の結果につきましては、7月1日から7月9日点検分を7月11日頃に、お知らせすることとします。

なお、放射性物質が検出された場合には、すみやかに公表します。

以 上

* 6月16日から7月9日までの予定

ダクトの点検には足場の設置が必要となるため、天候などの影響により点検期間が変更となる場合もあります。

3号機 タービン建屋の換気空調系概略図

